

表彰の根拠	規則	規則第3条第8号による表彰	表彰の実施	予定日	令和8年3月19日
	要綱等の名称	姫路市芸術文化賞表彰要綱		行事等の名称	2026文化交流フェスティバル
賞の種類		姫路市芸術文化賞			

ふりがな 氏名	おざわ こうじ 小澤 紘司 (落語研究)	性別	男性	
		生年月日	昭和20年2月6日	
		年齢	81歳	
住所	〒670-0971 姫路市西延末			
職業	落語研究家	会社等名称		
		所在地		
功績概要	<p>昭和42年 関西学院大学経済学部卒業 平成22年 「文化勲章受章記念 桂米朝 写真・絵画展」(姫路文学館)、「第十四回上方演芸の殿堂入り 桂米朝特別展」(大阪府立上方演芸資料館)、「文化勲章受章－芸能活動の軌跡－ 桂米朝展」(尼崎市総合文化センター) 協力 平成23年 「桂米朝展～落語、求道者の足跡(紀伊国屋書店画廊) 協力 平成24年 「米寿記念 米朝展」(サンケイホールブリーゼ) 協力 平成27年 「米朝ものがたり」連載(月1本) 開始 令和7年 『桂米朝が遺した宝もの』共著出版 令和7年 「生誕百年・没後十年特別展 桂米朝 嘶家の姿」(尼崎市総合文化センター)、「生誕百年記念 桂米朝まつり「特別展 嘶家の原点・100年のその先へ」(イーグレひめじ) 協力</p> <p>関西学院大学在学中、古典芸能研究部にて活動し、卒業後も長年にわたり上方落語、特に桂米朝に関する資料研究と情報発信に取り組んできた。その端緒は、在学中に落語に関する質問の手紙を送ったことをきっかけに始まった桂米朝氏との交流であり、以後その関係を通じて研究を深めてきた。平成21年の会社員退職後より定期的に桂米朝氏の自宅を訪問し、桂米朝所蔵資料の整理および調査研究に本格的に着手。未整理であった原資料の分類・体系化や新資料の発掘に取り組み、桂米朝自筆による落語「一文笛」の原稿をはじめとする貴重資料の発見・整理を通じて、桂米朝研究の基礎資料の整備に貢献してきた。</p> <p>平成27年からは朝日新聞において「米朝ものがたり」を連載し、令和3年まで執筆を継続。令和7年刊行の共著『桂米朝が遺した宝もの』には同連載内容も収録されている。さらに、平成22年以降、文化勲章受章記念展や米寿記念展をはじめとする各地の関連展覧会において資料提供や内容監修に協力し、令和7年の生誕百年記念展などにも携わるなど、桂米朝研究の専門家として上方落語文化の保存と継承に寄与している。その功績は大である。</p>			